

English translation of the abstract of the Cited Invention 2 (JP H06-072821)

(13) Kind of Document: U (Published Utility Model Application)

(21) Application No.: 1993-014836 (1993. 3. 29)

(11) Publication No.: 1994-072821 (1994. 10. 11)

(71) Applicant: Toppan Printing Co. Ltd.

(54) [Title of the Utility Model] Column-Shaped Paper Box of Flip Top Type

(57) Abstract

[PROBLEM TO BE SOLVED] Recently, a paper box is required which can be adapted to intensification of the competition in the market and diversification and improvement in dietary life, follows the fashion such as good-looking of the package and valuing the material, is made of paper to be easily disposed when discarding, is of a flip-top type which can be opened or closed by a press of a finger, is dressed up and gives a novel image to the customer.

[SOLUTION] The present utility model concerns a column-shaped paper box comprising a column-shaped lid of which bottom is open and a column-shaped box of which top is open. The column-shaped paper box connects the back side of a top plate (11) of the lid and the top side of a back plate (22) of the box continuously through a folding line, covers the lid to the box and engages an engaging notch of the lid and an engaging piece of the box.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-72821

(43)公開日 平成6年(1994)10月11日

(51)Int.Cl ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 65 D 3/02		B 6916-3E		
3/26		A 6916-3E		
5/06		B 7408-3E		
5/06	301	G 7445-3E		

審査請求 未請求 請求項の数 2 O.L (全 3 頁)

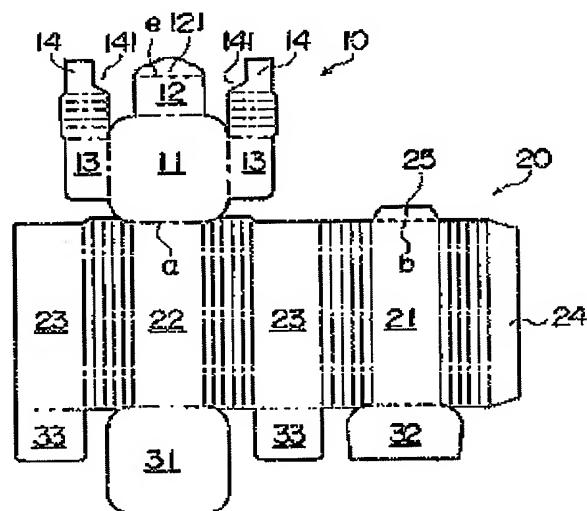
(21)出願番号	実願平5-14336	(71)出願人	000003193 凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号
(22)出願日	平成5年(1993)3月29日	(72)考案者	戸田 錠子 東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(64)【考案の名称】 フリップトップ式の角丸柱状の紙箱

(57)【要約】

【目的】最近の、販売市場の競争激化や食生活の多様化、高級化などとともに、また包装容器の見栄えや体裁などを重視するファッショナ化とともに、チョコレート菓子やスナック菓子などの包装容器については、廃棄時の処理、処分が容易な紙製であって、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の、ちょっと洒落たデザイン形状の、消費者に新規なイメージを与える紙箱が要請されている。

【構成】本考案は、底面が開口した角丸柱状の蓋体と、蓋面が開口した角丸柱状の箱体とから成る角丸柱状の紙箱であって、折り目線を介して、蓋体の蓋面板(11)の後端辺と箱体の後面板(22)の上端辺とを追設して、蓋体を箱体に被せて、蓋体の蓋禁止切欠きと箱体の禁止片とを禁止したフリップトップ式の角丸柱状の紙箱である。



実開平6-72821

(2)

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】角丸長方形の蓋面板(11)の前端辺に、折り目線を介して長方形の前面蓋板(12)を追設して、角丸長方形の蓋面板(11)の左右の側端辺に、折り目線を介して適宜形状の側面蓋板(13,13)を追設して、この左右の側面蓋板(13,13)の前端辺に、等間隔の複数の折り目線を介して蓋繋止切欠き(141)を有する蓋糊代片(14)をそれぞれ追設して、この前面蓋板(12)と左右の蓋糊代片(14,14)とをそれぞれ接着した、底面が開口した角丸柱状の蓋体(10)と、それぞれ等間隔の複数の折り目線を介して、それぞれ長方形の側面板(23)と後面板(22)と側面板(23)と上端辺に谷折り線(6)を介して繋止片(25)を追設した前面板(21)と糊代片(24)とを順に追設して、この後面板(22)と前面板(21)との下端辺に、折り目線を介して角丸長方形の底面板(31)と角丸長方形形状の底面内板(32)とを追設して、最初に追設した側面板(23)と糊代片(24)とを接着して、この底面板(31)と底面内板(32)とを接着した、蓋面が開口した角丸柱状の箱体(20)と、から成る角丸柱状の紙箱であって。

折り目線(a)を介して、蓋体(10)の蓋面板(11)の後端辺と箱体(20)の後面板(22)の上端辺とを追設して、蓋体(10)を箱体(20)に被せて、左右の蓋糊代片(14,14)の蓋繋止切欠き(141,141)と谷折り線(6)を谷折りした繋止片(25)とを繋止したことを特徴とするフリップトップ式の角丸柱状の紙箱。

【請求項2】角丸長方形の蓋面板(11)の前端辺に、折り目線を介して下端辺に蓋繋止片(16)を追設した長方形の前面蓋板(12)を追設して、この前面蓋板(12)の左右の側端辺に、等間隔の複数の折り目線を介して長方形形状の側面蓋板(13,13)を追設して、この左右の側面蓋板(13,13)の下端辺に、折り目線を介して側面板(23)との追結片(17)をそれぞれ追設した、底面が開口した角丸柱状に製箱する蓋体(10)と、それぞれ等間隔の複数の折り目線を介して、それぞれ長方形の側面板(23)と上端辺に谷折り線(6)を介して繋止片(25)を追設した前面板(21)と側面板(23)と後面板(22)と糊代片(24)とを順に追設して、この前面板(21)と後面板(22)との下端辺に、折り目線を介して角丸長方形の底面板(31)と角丸長方形形状の底面内板(32)とを追設して、最初に追設した側面板(23)と糊代片(24)とを接着して、この底面板(31)と底面内板(32)とを接着した、蓋面が開口した角丸柱状の箱体(20)と、から成る角丸柱状の紙箱であって。

折り目線(a)を介して、箱体(20)の後面板(22)の上端辺に蓋体(10)の角丸長方形形状の蓋面内板(15)を追設して、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とを介して、蓋体(10)の左右の追結片(17,17)と蓋繋止片(16)との下端辺と箱体(20)の左右の側面板(23,23)と繋止片(25)との上端辺とをそれぞれ追設して、谷折り線(b)と切れ目線(c,c)とを谷折りして蓋体(10)を箱体(20)に被せて、蓋体(10)の蓋面板(11)と蓋面内板(15)とを接着したことを特徴とするフリップトップ式の角丸柱状の紙箱。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の実施例1における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のブランクの平面図である。

【図2】本考案の実施例2における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のブランクの平面図である。

【図3】本考案の実施例1における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱の斜視図である。

【図4】本考案の実施例2における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱の斜視図である。

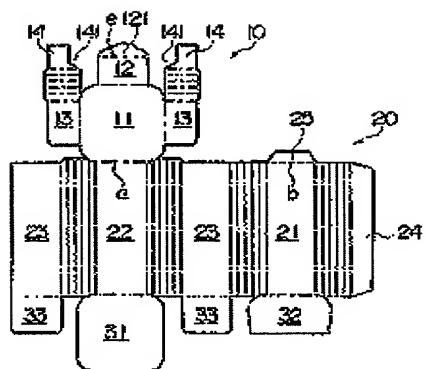
【符号の説明】

20	1 0	…蓋体
	1 1	…蓋面板
	1 2	…前面蓋板
	1 2 1	…つまみ片
	1 3	…側面蓋板
	1 4	…蓋糊代片
	1 4 1	…蓋繋止切欠き
	1 5	…蓋面内板
	1 6	…蓋繋止片
	1 7	…追結片
30	1 8	…蓋折返し片
	2 0	…箱体
	2 1	…前面板
	2 2	…後面板
	2 3	…側面板
	2 4	…糊代片
	2 5	…繋止片
	3 1	…底面板
	3 2	…底面内板
	3 3	…底折返し片
40	a	…折り目線
	b, e	…谷折り線
	c, d	…切れ目線

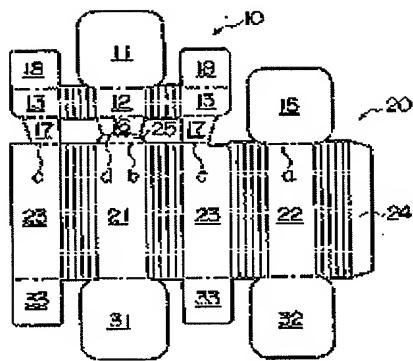
(3)

実開平6-72821

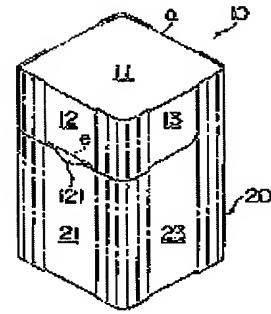
【図1】



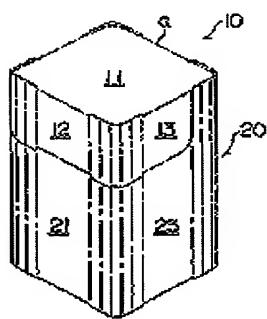
【図2】



【図3】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、チョコレート菓子やスナック菓子などの、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ(flip-top: 一方が蝶番式になっていて、親指で押上げて開く押上げ蓋)式の、閉蓋時の繋止構造を有する角丸柱状の紙箱に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来から、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の紙箱については、例えば、実開昭49-57323号公報(係止蓋付容器)や実開昭55-50998号公報(シール装置内蔵仰開式容器)や特開昭61-259980号公報(ヒンジ蓋付きパック)などに示すような、多数のフリップトップ式の紙箱の考案、発明が開示されているものであって、主に紙巻たばこやスナックチョコレートなどの、フリップトップ式の偏平立方体状の紙箱が広く用いられているものである。

【0003】

しかしながら、フリップトップ式の、閉蓋時の繋止構造を有する角丸柱状の紙箱については、従来から用いられたことがなかった。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

最近の、販売市場の競争激化や食生活の多様化、高級化などにともなって、また包装容器の見栄えや体裁などを重視するファッショナ化にともなって、チョコレート菓子やスナック菓子などの包装容器については、廃棄時の処理、処分が容易な紙製であって、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の、ちょっと洒落たデザイン形状の、消費者に新規なイメージを与える紙箱が要請されているものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】

以上のような、フリップトップ式の紙箱の要請に鑑み、本考案は、図1、図3

に示すように、角丸長方形の蓋面板(11)の前端辺(図1では上端辺)に、折り目線(符号がない一点鎖線、以下同じ)を介して長方形の前面蓋板(12)を連設して、角丸長方形の蓋面板(11)の左右の側端辺に、折り目線を介して適宜形状の側面蓋板(13,13)を連設して、この左右の側面蓋板(13,13)の前端辺(図1では上端辺)に、等間隔の複数の折り目線を介して蓋禁止切欠き(141)を有する蓋糊代片(14)をそれぞれ連設して、この前面蓋板(12)と左右の蓋糊代片(14,14)とをそれぞれ接着した、底面が開口した角丸柱状の蓋体(10)と、それぞれ等間隔の複数の折り目線を介して、それぞれ長方形の側面板(23)と後面板(22)と側面板(23)と上端辺に谷折り線(b)を介して禁止片(25)を連設した前面板(21)と糊代片(24)とを順に連設して、この後面板(22)と前面板(21)との下端辺に、折り目線を介して角丸長方形の底面板(31)と角丸長方形状の底面内板(32)とを連設して、最初に連設した側面板(23)と糊代片(24)とを接着して、この底面板(31)と底面内板(32)とを接着した、蓋面が開口した角丸柱状の箱体(20)と、から成る角丸柱状の紙箱であって、

折り目線(a)を介して、蓋体(10)の蓋面板(11)の後端辺(図1では下端辺)と箱体(20)の後面板(22)の上端辺とを連設して、蓋体(10)を箱体(20)に被せて、左右の蓋糊代片(14,14)の蓋禁止切欠き(141,141)と谷折り線(b)を谷折りした禁止片(25)とを禁止したことを特徴とする、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の、等間隔の複数の折り目線によって湾曲面を形成したちょっと洒落たデザイン形状の、閉蓋時の禁止構造を有する角丸柱状の紙箱を提供するものである。

【0006】

また本考案は、図2,図4に示すように、角丸長方形の蓋面板(11)の前端辺(図2では下端辺)に、折り目線を介して下端辺に蓋禁止片(16)を連設した長方形の前面蓋板(12)を連設して、この前面蓋板(12)の左右の側端辺に、等間隔の複数の折り目線を介して長方形状の側面蓋板(13,13)を連設して、この左右の側面蓋板(13,13)の下端辺に、折り目線を介して側面板(23)との連結片(17)をそれぞれ連設した、底面が開口した角丸柱状に製箱する蓋体(10)と、それぞれ等間隔の複数の折り目線を介して、それぞれ長方形の側面板(23)と上端辺に谷折り線(b)を介して禁止片(25)を連設した前面板(21)と側面板(23)と後面板(22)と糊代片(24)とを

順に連設して、この前面板(21)と後面板(22)との下端辺に、折り目線を介して角丸長方形の底面板(31)と角丸長方形状の底面内板(32)とを連設して、最初に連設した側面板(23)と糊代片(24)とを接着して、この底面板(31)と底面内板(32)とを接着した、蓋面が開口した角丸柱状の箱体(20)と、から成る角丸柱状の紙箱であって、

折り目線(a)を介して、箱体(20)の後面板(22)の上端辺に蓋体(10)の角丸長方形状の蓋面内板(15)を連設して、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とを介して、蓋体(10)の左右の連結片(17,17)と蓋繫止片(16)との下端辺と箱体(20)の左右の側面板(23,23)と繫止片(25)との上端辺とをそれぞれ連設して、谷折り線(b)と切れ目線(c,c)とを谷折りして蓋体(10)を箱体(20)に被せて、蓋体(10)の蓋面板(11)と蓋面内板(15)とを接着したことを特徴とする、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の、等間隔の複数の折り目線によって湾曲面を形成したちよつと洒落たデザイン形状の、不正開蓋の確認構造と閉蓋時の繫止構造とを有する角丸柱状の紙箱を提供するものである。

【0007】

【実施例】

＜実施例1＞

図1は、本考案の実施例1における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のプランクの平面図である。すなわち、角丸正方形の蓋面板(11)の前端辺(図1では上端辺)に、折り目線を介して下端辺(図1では上端辺)に谷折り線(e)を介してつまみ片(121)を連設した長方形の前面蓋板(12)を連設して、角丸正方形の蓋面板(11)の左右の側端辺に、折り目線を介して長方形状の側面蓋板(13,13)を連設して、この左右の側面蓋板(13,13)の前端辺(図1では上端辺)に、等間隔の複数の折り目線を介して蓋繫止切欠き(141)を有する蓋糊代片(14)をそれぞれ連設した蓋体(10)と、それぞれ等間隔の複数の折り目線を介して、それぞれ長方形の側面板(23)と後面板(22)と側面板(23)と上端辺に谷折り線(b)を介して繫止片(25)を連設した前面板(21)と糊代片(24)とを順に連設して、この側面板(23)と後面板(22)と側面板(23)と前面板(21)との下端辺に、折り目線を介して底折返し片(33)と角丸正方形の底面板(31)と底折返し片(33)と角丸長方形状の底面内板(32)とを連設

した箱体(20)とを、

折り目線(a)を介して、蓋体(10)の蓋面板(11)の後端辺(図1では下端辺)と箱体(20)の後面板(22)の上端辺とを連設した、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のブランクであって、表面に美麗な印刷をした320g/m²の良質の両面カード紙を用いて、通常の打抜型を用いた打抜工程で、縦・横・高さが70mm, 70mm, 110mmのチョコレート菓子用の、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のブランクを作製した状態を示したものである。

【0008】

図3は、本考案の実施例1における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱の斜視図である。すなわち、図1に示すフリップトップ式の角丸柱状の紙箱のブランクの、全ての折り目線(符号がない一点鎖線)を山折り(外側(印刷面)側が山になる、以下同じ)して、箱体(20)の最初に連設した側面板(23)と糊代片(24)とを機械的に接着(サック貼りと通称する)して、箱体(20)を蓋面と底面とが開口した角丸柱状に製箱して、次に通常の機械的な製箱工程で、蓋体(10)の前面蓋板(12)と左右の蓋糊代片(14,14)とをそれぞれ接着して、蓋体(10)を底面が開口した角丸柱状に製箱して、この蓋体(10)を箱体(20)に被せて、左右の蓋糊代片(14,14)の蓋禁止切欠き(141,141)と谷折り線(b)を谷折り(外側(印刷面)側が谷になる、以下同じ)した禁止片(25)とを禁止した後に、内容物であるスティック状のチョコレート菓子を収容して、同様の機械的な製箱工程で、箱体(20)の底面板(31)と底面内板(32)とを底折返し片(33,33)を折込んで接着して閉底した、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱の状態を示したものである。

【0009】

次に、図3に示すフリップトップ式の角丸柱状の紙箱の、蓋体(10)のつまみ片(121)を指でつまんで長方形の前面蓋板(12)を押上げたところ、軽い抵抗感とともに、蓋禁止切欠き(141,141)と禁止片(25)との禁止が外れて、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して開蓋して、この開蓋した蓋体(10)の角丸正方形の蓋面板(11)を指で軽く押下げたところ、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して閉蓋して、“パチッ”という抵抗感とともに、蓋禁止切欠き(141,141)と禁止片(25)とが禁止したものであって、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリッ

アトップ式の、等間隔の複数の折り目線によって湾曲面を形成したちょっと洒落たデザイン形状の、閉蓋時の繋止構造を有する角丸柱状の紙箱が得られたものである。

【0010】

＜実施例2＞

図2は、本考案の実施例2における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のプランクの平面図である。すなわち、角丸正方形の蓋面板(11)の前端辺(図2では下端辺)に、折り目線を介して下端辺に蓋繋止片(16)を連設した長方形の前面蓋板(12)を連設して、この前面蓋板(12)の左右の側端辺に、等間隔の複数の折り目線を介して蓋折返し片(18)を有する長方形状の側面蓋板(13)をそれぞれ連設して、この左右の側面蓋板(13,13)の下端辺に、折り目線を介して側面板(23)との連結片(17)をそれぞれ連設した蓋体(10)と、それぞれ等間隔の複数の折り目線を介して、それ長方形の側面板(23)と上端辺に谷折り線(b)を介して繋止片(25)を連設した前面板(21)と側面板(23)と後面板(22)と糊代片(24)とを順に連設して、この側面板(23)と前面板(21)と側面板(23)と後面板(22)との下端辺に、折り目線を介して底折返し片(33)と角丸正方形の底面板(31)と底折返し片(33)と角丸長方形状の底面内板(32)とを連設した箱体(20)とを、

折り目線(a)を介して、箱体(20)の後面板(22)の上端辺に蓋体(10)の角丸正方形の蓋面内板(15)を連設して、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とを介して、蓋体(10)の左右の連結片(17,17)と蓋繋止片(16)との下端辺と箱体(20)の左右の側面板(23,23)と繋止片(25)との上端辺とをそれぞれ連設した、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のプランクであって、実施例1と同様に、表面に美麗な印刷をした320g/m²の良質の両面カード紙を用いて、通常の打抜型を用いた打抜工程で、縦、横、高さが70mm, 70mm, 110mmのチョコレート菓子用の、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱のプランクを作製した状態を示したものである。

【0011】

図4は、本考案の実施例2における、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱の斜視図である。すなわち、図2に示すフリップトップ式の角丸柱状の紙箱のプランクの、全ての折り目線(符号がない一点鎖線)を山折りして、谷折り線(b)と切れ

目線(c,c)とを谷折りして蓋体(10)を箱体(20)に被せて、必要に応じて蓋繫止片(16)と遮蔽片(17,17)とを前面蓋板(12)と側面蓋板(13,13)とに接着した後に、実施例1と同様に、箱体(20)の最初に連設した側面板(23)と糊代片(24)とを機械的に接着(サック貼りと通称する)して、箱体(20)を蓋面と底面とが開口した角丸柱状に製箱して、次に通常の機械的な製箱工程で、蓋体(10)の蓋面板(11)と蓋面内板(15)とを蓋折返し片(18,18)を折込んで接着して、蓋体(10)を底面が開口した角丸柱状に製箱して、内容物であるスティック状のチョコレート菓子を収容して、実施例1と同様の機械的な製箱工程で、箱体(20)の底面板(31)と底面内板(32)とを底折返し片(33,33)を折込んで接着して閉底した、フリップトップ式の角丸柱状の紙箱の状態を示したものである。

【0012】

次に、図4に示すフリップトップ式の角丸柱状の紙箱の、蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げたところ、最初は、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とが“バリッ”と切断する抵抗感とともに、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して開蓋して、この開蓋した蓋体(10)の角丸正方形の蓋面板(11)を指で軽く押下げたところ、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して閉蓋して、“バチッ”という抵抗感とともに、蓋繫止片(16)と繫止片(25)とが繫止して、さらに閉蓋した蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げたところ、今度は、軽い抵抗感とともに、蓋繫止片(16)と繫止片(25)との繫止が外れて、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して開蓋したものであって、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の、等間隔の複数の折り目線によって湾曲面を形成したちょっと洒落たデザイン形状の、不正開蓋の確認構造と閉蓋時の繫止構造とを有する角丸柱状の紙箱が得られたものである。

【0013】

すなわち、最初に、蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げた時に、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とが“バリッ”と切断する抵抗感を感じることによって、購入した商品の不正開蓋(内容物の詰替えや悪戯など)の有無を、簡単に確認できるものである。

【0014】

【考案の効果】

以上、本考案のフリップトップ式の角丸柱状の紙箱においては、実施例1に示すように、折り目線(a)を介して、底面が開口した角丸柱状の蓋体(10)の蓋面板(11)の後端辺と蓋面が開口した角丸柱状の箱体(20)の後面板(22)の上端辺とを連設して、蓋体(10)を箱体(20)に被せて、左右の蓋糊代片(14,14)に設けた蓋繫止切欠き(141,141)と谷折り線(b)を谷折りした繫止片(25)とを繫止したことによって、また本考案のフリップトップ式の角丸柱状の紙箱においては、実施例2に示すように、折り目線(a)を介して、蓋面が開口した角丸柱状の箱体(20)の後面板(22)の上端辺に底面が開口した角丸柱状に製箱する蓋体(10)の蓋面内板(15)を連設して、切れ目線(d)を介して蓋体(10)の蓋繫止片(16)と箱体(20)の繫止片(25)とを連設して、谷折り線(b)を谷折りして蓋体(10)を箱体(20)に被せたことによって、指で押すだけで開蓋と閉蓋とが可能なフリップトップ式の、等間隔の複数の折り目線によって湾曲面を形成したちょっと洒落たデザイン形状の、閉蓋時の繫止構造を有する角丸柱状の紙箱を提供できるものである。

【0015】

すなわち、蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げて、軽い抵抗感とともに、蓋繫止切欠き(141,141)又は蓋繫止片(16)と繫止片(25)との繫止が外れて、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して開蓋して、この開蓋した蓋体(10)の角丸長方形の蓋面板(11)を指で軽く押下げて、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して閉蓋して、“パチッ”という抵抗感とともに、蓋繫止切欠き(141,141)又は蓋繫止片(16)と繫止片(25)とが繫止するものである。

【0016】

また、本考案のフリップトップ式の角丸柱状の紙箱においては、実施例2に示すように、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とを介して、蓋体(10)の左右の連結片(17,17)と蓋繫止片(16)との下端辺と箱体(20)の左右の側面板(23,23)と繫止片(25)との上端辺とをそれぞれ連設して、谷折り線(b)と切れ目線(c,c)とを谷折りして蓋体(10)を箱体(20)に被せたことによって、蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げて、最初は、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とが“パリッ”と切斷する抵抗感とともに、折り目線(a)を軸として蓋体(10)が回転動して開蓋して、

(11)

実開平6-72821

この開蓋した蓋体(10)の角丸長方形の蓋面板(11)を指で軽く押下げて閉蓋して、さらに閉蓋した蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げて、今度は、軽い抵抗感とともに、蓋繫止片(16)と繫止片(25)との繫止が外れて開蓋するものであって、最初に、蓋体(10)の長方形の前面蓋板(12)を指で軽く押上げた時に、切れ目線(c,c)と切れ目線(d)とが“バリッ”と切斷する抵抗感を感じることによって、購入した商品の不正開蓋の有無を確認できるフリップトップ式の角丸柱状の紙箱が得られたものである。